

脳卒中・神経脊椎センター 令和5年度経営方針

新たな中期経営プランの
ファーストステップ

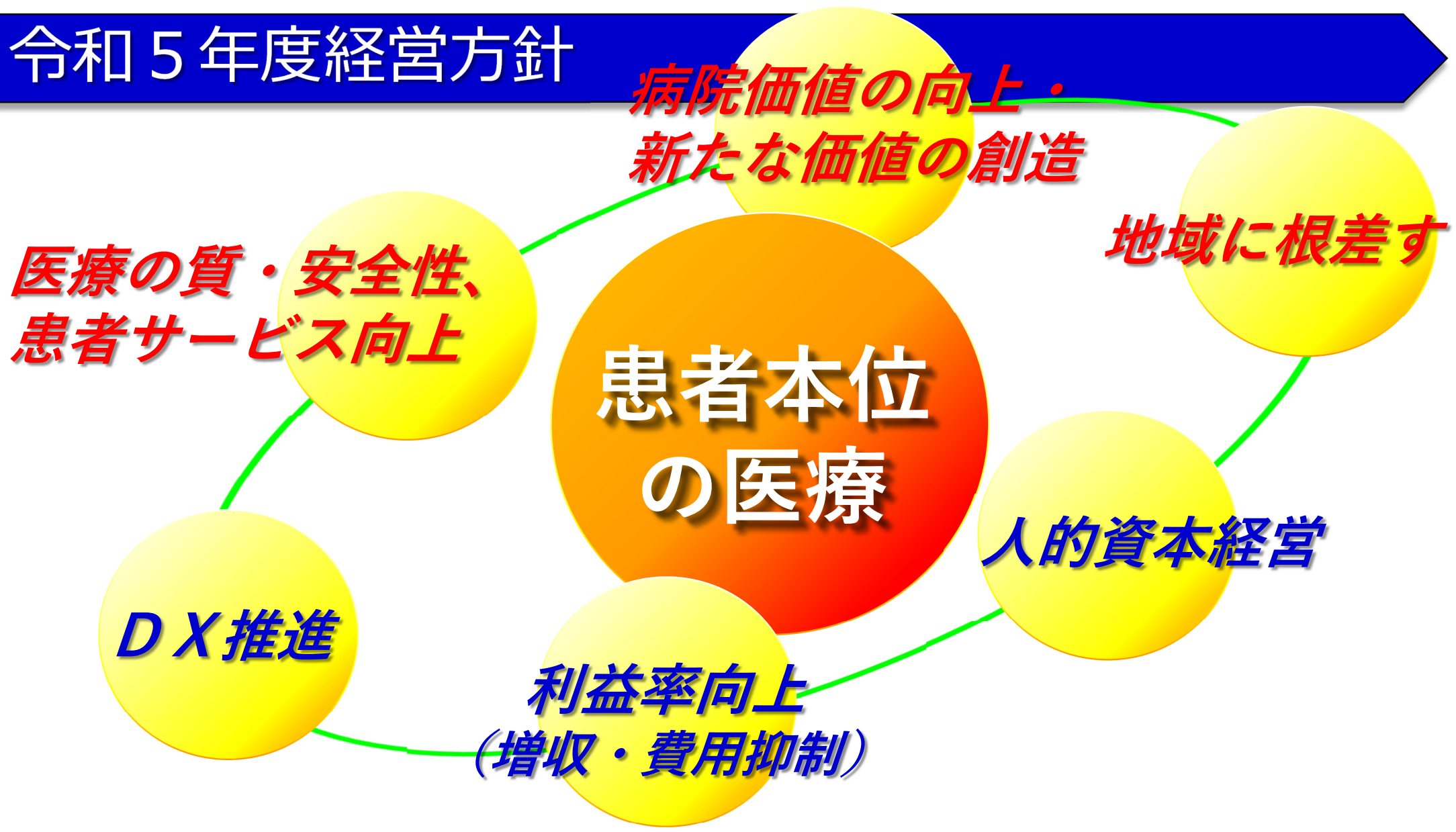


経営ビジョン

横浜市立病院中期経営プラン2023-2027 (新プラン) の計画期間における基本戦略

- 「超急性期から回復期まで、安全で質の高い専門医療を同一施設内で一貫・連続して提供する」という開設コンセプトを堅持しつつ、公立病院としての新たな価値を創造し、市民の健康寿命延伸に貢献します。
- 「地域に根差す公立病院」として、地域包括ケアシステムにおける市民の生活を高度な専門医療によって支えます。
- 新規入院患者数の増加による増収を図るとともに、デジタル技術の活用等によって業務のあり方を根底から見直し、経営における自立性・持続可能性の向上を図ります。

令和5年度経営方針



1) 病院価値の向上・新たな価値の創造

- 市民の健康寿命延伸に向け、脳卒中救急、運動器の健康づくり、心臓リハビリテーション、認知症への対応等を引き続き推進します。
- 市の脳卒中救急については体制構築を含め主導的な役割を果たし、神経難病患者については診断、一時受入れなど地域で必要となるあらゆる専門的対応に先導的に取り組むことで、専門医療の旗手として市立病院のプレゼンスを発揮します。
- 総合診療機能の充実を図ります。
- 病院の特長を活かした研究・教育の取組を進めます。
- 広報のあり方を見直し、ホームページ等による情報発信の強化を図ります。また、寄附の受入れを積極的に進めます。

2) 医療の質・安全性、患者サービスの向上

- 病院機能評価（一般病院2 3rdG : Ver.3.0）の受審準備活動（令和5年6月～令和6年11月を予定）を通じて、組織的かつ継続的に医療の質・安全性及び患者サービスの向上を図る仕組みを構築します。
- 新興・再興感染症の拡大に備え、感染管理認定看護師等の人材を確保・養成するとともに、柔軟な診療・ケア体制及び病床運営によって感染症患者の受入れに当たります。
- 医療情報システム更新（令和6年度末～令和7年度初めを予定）に向け、AI等のデジタル技術導入について検討を進めます。

3) 地域に根差す

- 他の医療機関や訪問看護ステーション、介護施設・事業者等と幅広くかつ緊密に連携しながら地域における市民の生活を積極的に支援します。
- サブアキュート患者・ポストアキュート患者を地域包括ケア病棟において引き続き積極的に受け入れます。
- ホームページ・広報印刷物や共催講演会などの媒体を駆使して市民に対する医療知識の普及・啓発活動を推進します。
- 専門医資格の取得支援、医学部等実習生の受入れのほか、区などとも連携し、研修や意見交換会等の実施を通じて地域医療・介護人材の育成に努めます。



4) 人的資本経営

- 個々の職員の能力やスキルをより重視し、経営戦略に連動した人材戦略に基づいて経営幹部が積極的に関与しながら人材の確保・育成に当たります。
- 部門・職種別の人材確保・育成計画を整備し、その達成度や病院が求める資格取得の状況等を適切に評価することで職員の意欲を引き出し、組織の活性化に繋がります。
- 多職種連携、組織横断的な改善活動等を通じて、職員が相互に協力しながら諸課題の解決を図る文化を醸成します。
- 職員相互の意見交換・コミュニケーションを容易かつアクティブに実施できるツールの導入について検討します。

5) DX

- 病院事業全体のDX方針策定に向け、市民病院及び医療局病院経営本部等との調整に着手します。
- 患者等の利便性向上及び内部業務の効率化の2つの側面から病院としての方向性及びスケジュールを定めます。
- 患者等の利便性向上については、病院機能評価の受審準備活動や医療情報システム更新に向けた取組と連動しながら検討を進めます。
- 内部業務の効率化については、入力業務等の間接業務に係る業務負荷軽減・コスト削減を目指し、第一段階として全部門を対象に業務内容の実態調査を実施し、業務の可視化及び整理を進めます。

6) 利益率向上 (増収・費用抑制)

- 24時間365日「断らない救急」を徹底し、より高度な治療を要する患者を可能な限り受け入れます。
- 紹介に基づく、あるいは外来からの新規入院患者を増加させ、予定入院・予定手術の対象となる患者の割合を高めることで安定的な収益確保を目指します。
- 入退院支援及び病床管理を強化します。
- 変動費である医薬材料費については、在庫管理の徹底及び使用効率の向上によって一定水準に抑制します。
- 業務の再構築により、特に間接業務コストの削減を図ります。



急性期から回復期まで一貫した専門医療の提供

1 脳血管疾患医療

- ・「断らない救急」の徹底により救急車搬送患者数2,000件の水準を維持
- ・P S Cコア施設として24時間365日ハイブリッド治療に対応

2 神経疾患医療

- ・神経難病患者の受入れ（レスパイト入院含む）等、多岐にわたる神経疾患への対応を継続
- ・フレイルへの対応として、高齢者の慢性めまいやめまい平衡障害等に対するめまい診療を推進

急性期から回復期まで一貫した専門医療の提供

3 認知症医療

- ・もの忘れ外来・もの忘れドックによる認知症初期症状の早期発見、診断及び助言を継続

4 脊椎脊髄疾患医療

- ・脊柱管狭窄症、頸椎・腰椎椎間板ヘルニア、成人脊柱変形、側弯症、骨粗鬆症などに対する幅広い治療を継続
- ・脊椎固定術、脊椎側弯症手術、椎間板摘出術等の実施件数を維持

急性期から回復期まで一貫した専門医療の提供

5 膝関節疾患医療

- ・手術支援ロボットの活用等により人工関節置換術の実施件数を増加

6 リハビリテーション医療

- ・回復期リハビリテーション病棟における1日当たり患者数100人（うちリハビリテーション科で85人）の実現

7 循環器疾患医療

- ・指導士確保による心臓リハビリテーションの再稼働・拡充

急性期から回復期まで一貫した専門医療の提供

8 麻酔科

- ・手術実施体制の強化

9 放射線科

- ・医師の人材確保・育成、新たな価値の創造
- ・A I 画像診断の導入検討

病院全体の主な経営目標

区 分	R05 目 標 ①	R04			対R04実績 ① - ③	対R04目標 ① - ②
		実績③	目標②	③ - ②		
新入院患者数 (人)	3,037	2,882	3,049	△ 167	155	△ 12
延入院患者数 (人) (1日あたり患者数)	94,308 (257.7)	90,315 (247.4)	94,986 (260.2)	△ 4,671 (△ 12.8)	3,993 (10.2)	△ 678 (△ 2.6)
病床稼働率 (%)	85.9	82.5	87.2	△ 4.7	3.4	△ 1.3
入院診療稼動額 (百万円)	5,983	5,479	5,841	△ 363	504	142
入院診療単価 (円)	63,441	60,662	61,496	△ 834	2,779	1,946
手術件数 (件)	870	895	820	75	△ 25	50
平均在院日数 (日)	31.1	31.3	29.8	1.5	△ 0.2	1.3
診療日数 (日)	366	365	365	—	1	1

※手術件数は、入院患者に対し手術室及び血管撮影室で実施するものを対象としています。

診療科別の経営目標

(1) 脳神経内科・総合診療科

区 分		R05 目 標 ①	R04			対R04実績 ① - ③	対R04目標 ① - ②
			実績③	目標②	③ - ②		
総脳 合 神 経 診 内 療 科 科・	新 入 院 患 者 数 (人)	1,256	1,299	1,338	△ 39	△ 43	△ 82
	延 入 院 患 者 数 (人) (1日あたり患者数)	27,506 (75.2)	28,592 (78.3)	25,404 (69.6)	3,188 (8.7)	△ 1,086 (△ 3.2)	2,102 (5.6)
	入 院 診 療 稼 働 額 (百万円)	1,424	1,336	1,266	70	87	158
	入 院 診 療 単 価 (円)	51,767	46,744	49,839	△ 3,095	5,024	1,928
	手 術 件 数 (件)	51	51	81	△ 30	—	△ 30

診療科別の経営目標

(2) 循環器内科

区 分		R05 目 標 ①	R04			対R04実績 ① - ③	対R04目標 ① - ②
			実績③	目標②	③ - ②		
循 環 器 内 科	新入院患者数 (人)	119	75	119	△ 44	44	—
	延入院患者数 (人) (1日あたり患者数)	2,856 (7.8)	3,446 (9.4)	3,248 (8.9)	198 (0.5)	△ 590 (△ 1.6)	△ 392 (△ 1.1)
	入院診療稼働額 (百万円)	162	172	194	△ 22	△ 10	△ 32
	入院診療単価 (円)	56,865	50,028	59,762	△ 9,734	6,837	△ 2,897

診療科別の経営目標

(3) 脳神経外科

区 分		R05 目 標 ①	R04			対R04実績 ① - ③	対R04目標 ① - ②
			実績③	目標②	③ - ②		
脳 神 経 外 科	新 入 院 患 者 数 (人)	634	495	633	△ 138	139	1
	延 入 院 患 者 数 (人) (1日あたり患者数)	13,948 (38.1)	10,667 (29.2)	13,774 (37.7)	△ 3,107 (△ 8.5)	3,281 (8.9)	174 (0.4)
	入 院 診 療 稼 働 額 (百万円)	944	732	918	△ 185	211	26
	入 院 診 療 単 価 (円)	67,649	68,657	66,625	2,032	△ 1,009	1,023
	手 術 件 数 (件)	252	251	239	12	1	13

診療科別の経営目標

(4) 整形外科

区 分		R05 目 標 ①	R04			対R04実績 ① - ③	対R04目標 ① - ②
			実績③	目標②	③ - ②		
整 形 外 科	新入院患者数 (人)	718	810	741	69	△ 92	△ 23
	延入院患者数 (人) (1日あたり患者数)	18,998 (51.9)	19,762 (54.1)	21,170 (58.0)	△ 1,408 (△ 3.9)	△ 764 (△ 2.2)	△ 2,172 (△ 6.1)
	入院診療稼働額 (百万円)	1,988	1,935	2,005	△ 70	54	△ 17
	入院診療単価 (円)	104,653	97,892	94,708	3,183	6,762	9,945
	手術件数 (件)	567	593	500	93	△ 26	67

診療科別の経営目標

(5) リハビリテーション科

区 分		R05 目 標 ①	R04			対R04実績 ① - ③	対R04目標 ① - ②
			実績③	目標②	③ - ②		
テ リ ハ シ ヨ ビ ン 科 リ	新入院患者数 (人)	310	195	218	△ 23	115	92
	延入院患者数 (人) (1日あたり患者数)	31,000 (84.7)	27,465 (75.2)	31,025 (85.0)	△ 3,560 (△ 9.8)	3,535 (9.5)	△ 25 (△ 0.3)
	入院診療稼働額 (百万円)	1,465	1,291	1,447	△ 156	174	18
	入院診療単価 (円)	47,255	47,015	46,644	371	241	612